

世田谷区立

次大夫堀公園民家園・岡本公園民家園

民家園のこよみ

(令和7年度 事業案内)



＊ご注意＊

園内の工事等の状況により、見学場所や入場人数などを制限させていただく場合があります。

また、行事等の中止や日程変更となる場合があります。

その場合は、区のホームページ、世田谷デジタルミュージアムにてご案内いたします。

世田谷区 HP:

<https://www.city.setagaya.lg.jp>



世田谷デジタルミュージアム HP:

<https://setagayadigitalmuseum.jp>



休園日

-1-

開催場所

【両】次大夫堀公園民家園・岡本公園民家園

【次】次大夫堀公園民家園

【岡】岡本公園民家園

10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	岡本公園民家園 企画展「岡本の記憶を辿る ムラのみち」(仮称) 7/4～3/22 【岡】																														
	十五夜9/27～10/5 【両】														草花にみる旧暦の節句〈重陽〉 10/24～10/29 【両】																
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
	岡本公園民家園 企画展「岡本の記憶を辿る ムラのみち」(仮称) 7/4～3/22 【岡】																														
	次大夫堀公園民家園 企画展「文化財建造物 価値の尺度」(仮称) 11/1～1/1 【次】																														
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
	岡本公園民家園 企画展「岡本の記憶を辿る ムラのみち」(仮称) 7/4～3/22 【岡】																														
	次大夫堀公園民家園 企画展「文化財建造物 価値の尺度」(仮称) 11/1～1/1 【次】																														
令和8年 1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	岡本公園民家園 企画展「岡本の記憶を辿る ムラのみち」(仮称) 7/4～3/22 【岡】																														
	次大夫堀公園民家園 企画展「文化財建造物 価値の尺度」(仮称) 11/1～1/1 【次】																														
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
	岡本公園民家園 企画展「岡本の記憶を辿る ムラのみち」(仮称) 7/4～3/22 【岡】																														
	農具展示 麦作 2/4～3/8 【次】																														
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
	岡本公園民家園 企画展「岡本の記憶を辿る ムラのみち」(仮称) 7/4～3/22 【岡】																														
	農具展示 麦作 2/4～3/8 【次】																														

民 家 園 の ご 案 内

次大夫堀公園民家園及び岡本公園民家園は、世田谷区の有形文化財に指定された建造物（古民家）を中心に、世田谷が農村だった昭和初期までの風景を再現し、農村の歴史文化から世田谷の郷土や“農家の暮らし”について学ぶことができる文化施設です。

両民家園では、文化財の古民家を公開しています。イロリやカマドで火を焚き、区内で使われていた昔の農具や生活用具を配置することで、農家の住まいとして展示しています。

また、『テーマ展示』や『民家のみかた』などの展示・解説会、農家の生業や習俗を再現する『暮らしの歳時記』、ボランティアによる藍染め・鍛冶・機織りなどの伝統的なモノ作りの実演や体験をとおして、農村の暮らしを知り、歴史文化の理解を深められるようなイベントを開催しています。

こうした文化財の活用を図りながら、かけがえのない地域の文化財を守り伝える取り組みとして、社会科見学の受け入れや文化財建造物の修繕工事に関連した実演や体験、文化財防火デー（1月26日）にあわせた防災活動なども行っています。

主な常設展示

《次大夫堀公園民家園 展示室》

管理事務所棟内の展示室では、多摩川及び次大夫堀（六郷用水）に関する歴史や、茅葺きや左官といった民家の建築技術に関する展示をご覧ください。

《次大夫堀公園民家園内の世田谷区指定有形文化財》



旧加藤家住宅主屋
田の字型の間取りで、養蚕農家の特徴をもつ民家。



旧城田家住宅主屋
街道沿いに建ち、農間余業で商売をしていた店造りの民家。



旧安藤家住宅
式台付き玄関、役宅空間、内倉を併設する名主家。



旧秋山家住宅土蔵
土蔵造りで茅葺きの置屋根形式の穀倉。



旧谷岡家表門
納屋と穀倉を備えた長屋門形式の門。

《岡本公園民家園内の世田谷区指定有形文化財》



旧長崎家住宅
広間型三間取りの痕跡が見られる食違い四間取りの民家。



旧浦野家土蔵
草葺き屋根が多かった江戸時代には珍しい、瓦葺き屋根の土蔵。

文化財建造物の工事に関するお知らせ

令和7年度は、旧安藤家住宅で構造の不具合改善のための補強工事等を実施します。そのため、工事中は旧安藤家住宅の見学を中止します。

詳しくは、区のホームページ等でご案内します。

テーマ展示

＊世田谷の農村にみられた歴史や文化を紹介します＊

《岡本公園民家園 企画展》

「岡本の記憶を辿る ムラのみち」(仮称)

令和7年7月4日(金)～令和8年3月22日(日)

岡本地区には、仙川や谷戸川などの河川によって生まれた坂道、渋谷町水道や砦大緑地などの近代施設に隠れた村道があります。また、環状八号線や東名高速道路の建設によって人々の往来も大きく変化しました。

本展では、岡本地区の多彩な「道」を通じて、景観や暮らしの移り変わりを紹介します。【岡】

《次大夫堀公園民家園 企画展》

「文化財建造物 価値の尺度」(仮称)

令和7年11月1日(土)～令和8年1月1日(木・祝)

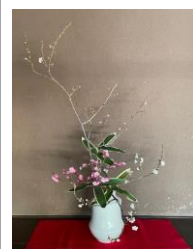
両園に移築・保存している区指定文化財の古民家では、かつての暮らしを再現するために、囲炉裏に火を入れたり、農家の生活・風習を行うなどの活用をしています。しかし天候や使用による劣化や破損はまめがれず、修繕を行うことにより、徐々に指定当初の姿から変容していきます。

本展では、指定後も変化し続ける文化財建造物の価値について再考し、文化財建造物の在り方について考えます。【次】

《草花にみる旧暦の節句》

各節句になじみのある草花を、旧暦に合わせて床の間に飾ります。【両】

節句名称	旧暦	現代の暦	展示期間
上巳(じょうし)の節句	3月3日	3月31日(月)	3月29日(土)～4月3日(木)
端午(たんご)の節句	5月5日	5月31日(土)	5月29日(木)～6月1日(日)
七夕(しちせき)の節句	7月7日	8月29日(金)	8月28日(木)～8月31日(日)
重陽(ちょうよう)の節句	9月9日	10月29日(水)	10月24日(金)～10月29日(水)
人日(じんじつ)の節句	1月7日	令和8年2月23日(月・祝)	令和8年2月12日(木)～2月15日(日)



「人日の節句」展示風景

※植物の状態により、展示期間を変更する場合があります。

関連行事 < いけばな体験 >

開催日時	内容・開催場所
10月25日(土) ① 11:00～12:00 ② 13:00～14:00	重陽の節句にあわせて、菊と真綿を使い、花を生けます。 事前申し込み、定員各回5名。講師：笹尾聡美(華道家)【次】

※詳しくは、「区のおしらせ」(10月1日号掲載予定)等をご覧ください。

民家のみかた

＊職人の技術や文化財建造物について紹介します＊

《古民家解説会》

岡本公園民家園と次大夫堀公園民家園に移築された農家の建物を見比べて、古民家の歴史や使い方を解説します。

開催日	開催時間	内容	開催場所
6月21日(土)	10:30～11:30	暮らしと家のづくり	旧加藤家住宅主屋・旧城田家住宅主屋【次】
9月6日(土)		蔵と門構え	旧秋山家土蔵・旧谷岡家表門【次】
10月4日(土)		家のづくりの移り変わり	旧長崎家住宅主屋【岡】

暮らしの歳時記

* 季節ごとの“農”の再現風景を体感できます *

昭和初期までの世田谷の村々では、農業を主な仕事とする家(農家)がほとんどで、米や麦のほか、換金作物として蚕の繭や野菜なども生産していました。村の職人である鍛冶や木挽きなども、農業の合間に働く、農間余業が一般的でした。

年間をとおして休む暇がないほど働いていた農家や職人にとって、節目に神仏への祈りや願いをこめて行う行事は、貴重な骨休めの日でもありました。行事ごとに作る神仏へのお供え物は、日常では食べることのできないごちそうでもありました。

『暮らしの歳時記』では、かつての世田谷にみられた農作物を栽培し、季節ごとの生業を再現する『農事暦』と、農家や村の職人などが行っていた「ハレの日」の行事を再現する『民間暦』をとおして、農家の暮らしを紹介しています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
農 事 暦	麦作	稲作(しめ縄用)						麦作				
		畑作(里芋・薩摩芋・南瓜・胡瓜・茄子などの夏野菜)			畑作(大根・蕪・小松菜などの秋野菜)							
		養蚕			養蚕							
民 間 暦	〈農家〉	五月節句		七夕 盆	盆	十五夜 秋彼岸	十三夜 荒神様		コト八日 煤払い 餅つき 正月飾り 冬至	正月 七草 蔵開き 小正月 恵比須講	節分 コト八日 初午	三月節句 春彼岸
	〈職人〉							恵比須講 韃祭り		鍛冶・初打ち	太子講	

*この暦は、民家園で実施している事業をもとに作成しています。

*次大夫堀公園では、5月下旬から10月下旬に稲作(もち米の栽培)を行っています。

《農事暦》

開催場所：【両】次大夫堀公園民家園・岡本公園民家園 【次】次大夫堀公園民家園 【岡】岡本公園民家園

生業名	解 説 ・ 内 容 等	時季・場所	関 連 行 事 等
稲作	年貢などの租税や、土地代の支払いにあてられる作物として、米(うるち米)は貴重な農作物でした。水田では、うるち米や、ハレの日の行事に必要なもち米、正月のしめ縄の材料として利用するための稲も栽培していました。	5月中旬 ～ 11月中旬 【次】	〈農具展示〉 5月14日(水)～6月15日(日)【次】 〈解説会 世田谷の稲作〉 6月8日(日) 11:00～11:20【次】
養蚕	かつて養蚕は、現金収入として貴重な生業のひとつでした。多くの家では春・秋・晩秋の年間3回、蚕を飼育し、繭を出荷していました。出荷された繭を集め、生糸に加工して輸出業者と取引する家もありました。	①5月上旬 ～ 6月上旬 ②8月上旬 ～ 9月上旬 【次】	〈農具展示〉 ①5月21日(水)～6月22日(日)【次】 ②7月30日(水)～8月31日(日)【次】 〈解説会 世田谷の養蚕〉 6月22日(日) 11:00～11:20【次】
畑作	養蚕の衰退後、野菜が現金収入の重要な農作物となりました。収穫した野菜は神田や青山の市場へ出荷しました。春には家の前庭に苗床を作ってナスやサツマイモの苗を育てました。冬は用水の洗い場などでダイコンやカブを洗って出荷していました。	5月中旬 ～ 2月上旬 【両】	〈農具展示〉 6月25日(水)～7月21日(月・祝)【岡】 〈解説会 世田谷の畑作と七夕〉 7月6日(日) 11:00～11:20【岡】
麦作	麦は世田谷で、畑や水田の後作に最も多く生産されていました。大麦は麦飯、小麦はうどんとして農家が年間を通じて食べる重要な作物でした。また、麦から(茎)は、民家の屋根に利用されるなど、麦は当時の暮らしに密接に関わっていました。	11月下旬 ～ 6月中旬 【次】	〈農具展示〉 2月4日(水)～3月8日(日)【次】 〈解説会 世田谷の麦作〉 3月7日(土) 11:00～11:20【次】

《 民間 暦 》

開催場所：【両】次大夫堀公園民家園・岡本公園民家園 【次】次大夫堀公園民家園 【岡】岡本公園民家園

行事名	解 説 ・ 内 容 等	開催日・場所	関 連 行 事 等
五月節句	5月5日は「端午の節句」や「男の節句」ともよばれていました。軒昌蒲などの邪気払いや虫よけのまじないをする、柏餅などのごちそうを作って祝う、男児の成長を願って鯉のぼりや武者絵幟を立て、人形を飾るなど、多彩な行事が行われていました。	4月19日(土) ～ 5月6日(火・休) 【両】	〈お供え物作り(柏餅)〉 4月19日(土) 10:00～12:00【次】 〈解説会 世田谷の五月節句〉 5月5日(月・祝) 11:00～11:20【次】
七 夕	7月7日に、主屋の軒先などに笹竹をたて、小麦などの夏の農作物の収穫を祝いました。また、子ども達が笹竹に短冊をつけて、字の上達などを願いました。	6月28日(土) ～ 7月6日(日) 【両】	短冊に願い事を書いて、笹竹に飾ることができます。 10:00～15:00【両】 〈解説会 世田谷の畑作と七夕〉 7月6日(日) 11:00～11:20【岡】
盆	主屋の仏壇前に盆棚を作って仏具やお供え物を調え、先祖の霊を家に迎え供養する行事です。もともと旧暦では7月13日～15日に行われていたため、世田谷では新暦の7月、または月遅れの8月に行いました。	①7月9日(水)～ 7月15日(火) 【次】 ②8月8日(金)～ 8月15日(金) 【岡】	
あきひがん 秋彼岸	しゅうぶん 秋分を中日とした前後3日ずつの7日間を彼岸といいます。寺や墓にお参りし、仏壇にお供え(入りそば、中日ぼたもち、明け団子)をして先祖供養をするなど、仏教との関わりがある行事です。 令和7年は、入り20日、中日23日、明け26日です。	9月20日(土) ～ 9月26日(金) 【両】	〈お供え物作り(そば)〉 9月20日(土) 10:00～12:00【次】
十五夜	旧暦8月15日の夜に、主屋の縁側など月が見える所に月見団子や里芋などの収穫物を供え、ススキを飾って月見をしました。月をめ、収穫に感謝しました。 令和7年の旧暦8月15日は、10月6日です。	9月27日(土) ～ 10月5日(日) 【両】	〈お供え物作り(月見団子)〉 9月27日(土) 10:00～12:00【岡】
十三夜	十五夜に月見をしたら、必ず十三夜にも月見をしました。旧暦9月13日の夜に、主屋の縁側に月見団子や里芋などの収穫物を供え、ススキを飾りました。月をめ、収穫に感謝しました。 令和7年の旧暦9月13日は、11月2日です。	10月26日(日) ～ 11月2日(日) 【両】	
こうじんさま 荒神様の 旅立ち	家々でまつる荒神様は、その家の子どもたちの縁談をまとめるために10月にいすもへ旅に出るといわれていました。荒神様が旅立つ日には、お土産として団子などを供えました。	10月23日(木) ～ 10月30日(木) 【両】	
ふいご 鞆祭り	鍛冶職人など鞆(風を送る道具)を使う職人の行事です。仕事の無事と息災を祈願し、11月8日頃に行いました。仕事場を清めて鞆にしめ縄を張り、赤飯やミカンなどを供えました。	11月8日(土) 【次】	
えびすこう 恵比須講	恵比須神をまつる家々では、11月20日頃に尾頭付きの魚、そばなどのお供えをして、豊作や商売繁盛、家内安全などを願いました。	11月15日(土) ～ 11月20日(木) 【両】	〈お供え物作り(そば)〉 11月15日(土) 10:00～12:00【次】

*旧安藤家住宅主屋の展示は、工事のため中止します。

行事名	解 説 ・ 内 容 等	開催日・場所	関 連 行 事 等
コト八日 ようか	12月8日は「コト始め」ともいわれ、この日以降に正月の準備を始めるとされています。また疫病神 ^{やくびょうがみ} が来る日とされ、軒先などに目籠 ^{めかご} を掲げて魔よけとしました。	11月29日(土) ～ 12月7日(日) 【両】	
正月準備 すすはら 煤払い	正月に年神 ^{としがみ} を迎えるため、正月前には、まず家の中を清めました。主屋等の煤を、ススダケ(笹竹で作った柄の長い箒)で払い、家財道具を前庭に出し、拭き掃除をしました。	12月3日(水) 【次】 12月7日(日) 【岡】	
正月準備 もち 餅つき	年神をはじめとする神仏などへ供える鏡餅や、正月に食べる餅をつきました。鏡餅は、神鏡 ^{しんきょう} にたとえられるなど、神聖なお供え物のひとつでした。	12月13日(土) 【次】	〈お供え物作り(鏡餅)〉 12月13日(土) 10:00～12:00【次】
正月準備 正月飾り	年神をはじめ神々 ^{まつ} を祀る場所を示すためのお飾りは、暮れの30日までに準備 ^{じゅんび} しました。稲わらでしめ縄を作り、雑木林などで松を採り(松迎え)、新竹と共に、門口や庭に松飾りや門松を立てました。	12月17日(水) ～ 12月27日(土) 【両】	〈お飾り作り(門松)〉 12月20日(土) 10:00～15:00【次】 〈お飾り作り(しめ縄)〉 12月20日(土) 13:00～15:00【両】
とう じ 冬 至	冬至は一年で最も日が短くなるとされている日です。この日にはカボチャの煮物を仏壇に供え、「食べると風邪をひかない」といって家族も食べました。 令和7年は、12月22日が冬至です。	12月17日(水) ～ 12月21日(日) 【両】	
正 月	おおみそか ^{とおしこ} 大晦日の晩(年越し)から3日までは、年神へのお供え物(オセチ)と同じ特別な料理を家の人も食べて祝い、仕事を休みました。 正月飾りは「七日の風にあてるな」といって、1月7日の朝までに片付けました。また1月11日には、供えた鏡餅で汁粉を作り、神仏に供えました。	1月1日(木・祝) ～ 1月11日(日) 【両】	〈解説会 世田谷の正月〉 1月1日(木・祝) 12:00～12:20【両】
正月 七草	正月に行われる行事のひとつです。1月7日朝、ナズナなど春の七草を入れた粥 ^{かゆ} を作って神仏に供え、家の人も同じものを食べました。	1月7日(水) ～ 1月9日(金) 【両】	
正月 蔵開き	正月に行われる行事のひとつです。蔵のある家では、暮れから閉めていた蔵の戸を1月11日に初めて開け、鏡餅で作った汁粉を供えました。	1月8日(木) ～ 1月12日(月・祝) 【両】	
鍛冶 ・ 初打ち	鍛冶職人の新年の仕事始めの行事でした。鉄を打って「鎌、剣、鍵」の形をした飾りを製作し、仕事場にまつる神棚に供えて、一年の安全を祈りました。	1月6日(火) ～ 1月12日(月・祝) 【次】	*飾りの製作を行います。 1月10日(土) 10:00～15:00【次】
たいしこう 太子講	だいく ^{きえね} 大工や木挽きなどの職人たちが、新年最初の甲子の日などに聖徳太子 ^{しょうとくたいし} を祀り、仕事の決め事を話し合うために集まる行事でした。聖徳太子の軸を掛け、曲尺 ^{かねじゃく} や墨つぼなど、仕事で使う道具や汁粉を供えました。 令和8年は、2月19日が新年最初の甲子です。	2月19日(木) ～ 2月26日(木) 【次】	

*旧安藤家住宅主屋の展示は、工事のため中止します。

行事名	解説・内容等	開催日・場所	関連行事等
こしょうがつ 小正月	<p>1月15日は小正月と呼び、一年の始まりにあたって、その年の作物の豊かな実りを願う農耕に関わる行事や、災難除けなどの様々な行事が行われました。</p> <p>小正月では、養蚕の繭や農作物などの豊作を願い、団子を木の枝に刺した「繭玉」や、粟と稗の穂が豊かに実った様子に見立てた「粟穂稗穂」といった飾りものを作りました。こうした飾りものや、無病息災を祈って作る「小豆粥」を、神棚などに供えました。</p>	<p>1月10日(土) ～ 1月20日(火) 【両】</p>	<p>〈お供え物作り(繭玉)〉 1月10日(土) 10:00～12:00【岡】</p>
恵比須講	<p>恵比須神をまつる家々では、1月20日頃に尾頭付きの魚、そばなどのお供えをして、豊作や商売繁盛、家内安全などを願いました。</p>	<p>1月11日(日) ～ 1月20日(火) 【両】</p>	<p>〈お供え物作り(そば)〉 1月11日(日) 10:00～12:00【次】</p>
節分	<p>立春の前日である節分は「年越し」とよばれていました。この日には、農作物の害虫よけや邪気払いのまじないとして、「虫の口焼き」や豆まきなどが行われました。</p> <p>令和8年は、2月3日が節分、2月4日が立春です。</p>	<p>1月24日(土) ～ 2月3日(火) 【両】</p>	
コト八日	<p>2月8日は「コト納め」ともいわれ、正月行事を終える日とされています。また疫病神が来る日とされ、軒先などに目籠を掲げて魔よけとしました。</p>	<p>2月1日(日) ～ 2月8日(日) 【両】</p>	
はつうま 初午	<p>2月最初の午の日は稲荷神の祭日とされています。屋敷内で稲荷神を祀る家々では、幟を立て、赤飯や油揚げなどを供えました。また、近隣の子供達が稲荷社のある家の庭に小屋掛けをして、小屋の中で食事をしたり、遊んだりしました。</p> <p>令和8年は、2月1日が初午(丙午)、13日が二の午です。</p>	<p>2月6日(金) ～ 2月13日(金) 【次】</p>	<p>*初午が丙午にあたる年は、二の午の日に初午の行事を行います。</p>
三月節句	<p>3月3日は「女の節句」や「桃の節句」ともよばれていました。この日には、菱餅や五目飯などのごちそうを作って祝う、女児の成長を願って雛人形を飾るなど、多彩な行事が行われていました。</p>	<p>2月21日(土) ～ 3月3日(火) 【両】</p>	<p>〈お供え物作り(菱餅)〉 2月21日(土)餅つき 2月22日(日)餅切り 10:00～11:00【次】</p> <p>〈解説会 世田谷の三月節句〉 3月1日(日) 11:00～11:20【次】</p>
春彼岸	<p>春分を中日とした前後3日ずつの7日間を彼岸と言います。寺や墓にお参りし、仏壇にお供え(入りそば、中日ぼたもち、明け団子)をして先祖供養をするなど、仏教との関わりがある行事です。</p> <p>令和8年は、入り17日、中日20日、明け23日です。</p>	<p>3月14日(土) ～ 3月22日(日) 【両】</p>	<p>〈お供え物作り(そば)〉 3月14日(土) 10:00～12:00【次】</p>

*旧安藤家住宅主屋の展示は、工事のため中止します。

民家園の夏を楽しもう

＊ 昔の夏を親子で再発見できます ＊

行事名	開催日	内 容 ・ 場 所
夏の暮らし再現	6月21日(土)～9月7日(日)	文化財古民家で、農家の夏の暮らしの一端を紹介します。【次】
夜まで民家園	7月19日(土) (20:00まで開園)	「水」をテーマに、生活における道具や、水にまつわる習俗といった展示や解説、子どもを対象とした体験により、暮らしの変化を学びます。 【次】
	9月13日(土) (20:00まで開園)	「火」をテーマに、明かりと暗がり、農家の夕食、夜なべ仕事などの展示や解説、子どもを対象とした体験により、暮らしの変化を学びます。 【岡】

昔の農村体験

＊ 農家や職人の暮らしの「技」を学ぼう ＊

行 事 名	開 催 時 期	内 容 ・ 場 所
春の巻	4月～6月	民家園ボランティアの協力で、下記をテーマに世田谷の農村や農家の暮らしを体験できます。 〈農家の仕事〉 農作物の種まき・収穫・脱穀・選別、藁仕事など 〈農家の食〉 昔ながら道具や材料を使った味噌やそば作り、石臼製粉など 〈昔の道具〉 鍬、鎌、唐箕、石臼、ふいご、大鋸、糸車など 〈ものづくり〉 藍染め、紙漉き、機織り、糸紡ぎ、木挽き、鍛冶など 〈子どもの遊び〉 竹のおもちゃ作り（竹とんぼ、ぶんぶんコマなど） ※開催場所は【岡】または【次】。行事により異なります。詳しくは開催時期ごろに掲載する区のホームページまたはポスターをご覧ください。
夏の巻	7月～9月	
秋の巻	10月～12月	
冬の巻	1月～3月	

民家園に親しむ

＊ 文化財や歴史を身近に感じることができます ＊

行事名	開催日時・場 所		内 容 ・ 備 考 ・ 場 所
俳句作り	5月1日(木)～9月30日(火)		<ul style="list-style-type: none"> ・民家園を詠んだ俳句を募集します。 ・園内に設置の投句箱に投句してください。(1人1句まで) ・後日、入選俳句を園内に展示します。 【両】
入選俳句展示	10月22日(水)～11月5日(水) 【次】 11月15日(土)～12月3日(水) 【岡】		<ul style="list-style-type: none"> ・入選俳句選者：小川晴子(俳誌「今日の花」主催)
こどもの日	5月5日(月・祝)	10:00～15:30	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の遊び体験(竹馬、バーゴマ)など ＊「解説会 世田谷の五月節句」 (『暮らしの歳時記』関連行事)を同日に開催します。【両】
民家園の七夕	7月6日(日)	10:00～15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・願い事を短冊に書き、笹竹に飾ります。 ・模擬店など ＊荒天中止 【岡】
せたがや民家園まつり	11月23日(日・祝)	9:30～15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の暮らしに関する実演や体験 ・民家園ボランティアの活動紹介(作品提供など) ＊詳しくは区のホームページに掲載予定。 【次】
元日開園	1月1日(木・祝)	10:00～15:30	<ul style="list-style-type: none"> ・正月遊び体験(羽つき、竹馬、コマ)など ＊「解説会 世田谷の正月」 (『暮らしの歳時記』関連行事)を同日に開催します。【両】
尺八演奏	原則毎月第2土曜日	10:00～14:30	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティア団体による尺八演奏 10:00～、11:00～、13:00～、14:00～ 各回30分程度演奏します。 【次】

民家園ボランティアの紹介

民家園ボランティアは、スタッフの一員として、昔の世田谷における農家の衣食住や職人に関する実演や体験教室といった、区民や来園者の方々が世田谷の歴史文化や文化財について、さらに理解を深められるような活動に取り組んでいます。

◆ 藍 染 め の 会 〈主な活動場所:次大夫堀公園民家園〉

畑で収穫した藍^{あい}の葉から、染料のもととなる染^{すくも}作り、藍建て、藍染めをしています。様々な絞^こりをはじめとする染めの活動をとおして、かつて区内にもあった「紺屋^{こうや}」の再現に取り組んでいます。



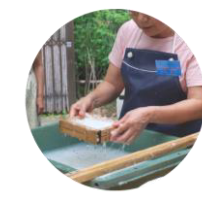
◆ 綿 の 会 ・ 綿 と 糸 の 会 〈主な活動場所:次大夫堀公園民家園〉

家族の衣類を手作りしていたかつての農家の衣生活^{いせいかつ}を再現しています。「綿^{わた}の会」は、栽培^{わたく}した棉の実から糸車^{いとぐるま}などを使って木綿糸^{つむ}の紡ぎ、「綿と糸の会」は機織^{はたお}り機などを使って糸から木綿布の織りを実演しています。



◆ 岡 本 紙 漉 きの 会 〈主な活動場所:岡本公園民家園〉

栽培^{こうぞ}した楮やトコロアオイなどから和紙をつくる紙漉^{かみす}きを実演しています。漉いた和紙は、古民家の障子などに活用しています。また、かつて多摩川流域で生産された「玉川唐紙^{たまがわからかみ}」の再現に取り組んでいます。



◆ 鍛 冶 の 会 〈主な活動場所:次大夫堀公園民家園〉

かつての農村にみられた「野鍛冶^{の か じ}」として、金槌^{かなづち}や鞴^{ふいご}といった道具を使い、手作業で農具などを製作する様子を実演しています。製作した鎌^{ひばし}、火箸^{わくぎ}、和釘などは、民家園内の展示に活用しています。



◆ そ ば の 会 〈主な活動場所:次大夫堀公園民家園〉

農家の行事食や日常食のうち、そばを使った食の再現をしています。畑で収穫したそばの実をクルリボウや唐箕^{とうみ}など、昔の農具を使って脱穀^{いしうす}し、石臼^ひで挽いたそば粉づくりにも取り組んでいます。



◆ 木 挽 きの 会 〈主な活動場所:次大夫堀公園民家園〉

ケヤキやスギなどの原木を、前挽大鋸^{まえびきおが}と呼ぶ大きな鋸^{のこぎり}を使って板材や角材に製材する過程を実演しています。製材した木材は民家園内で活用しています。

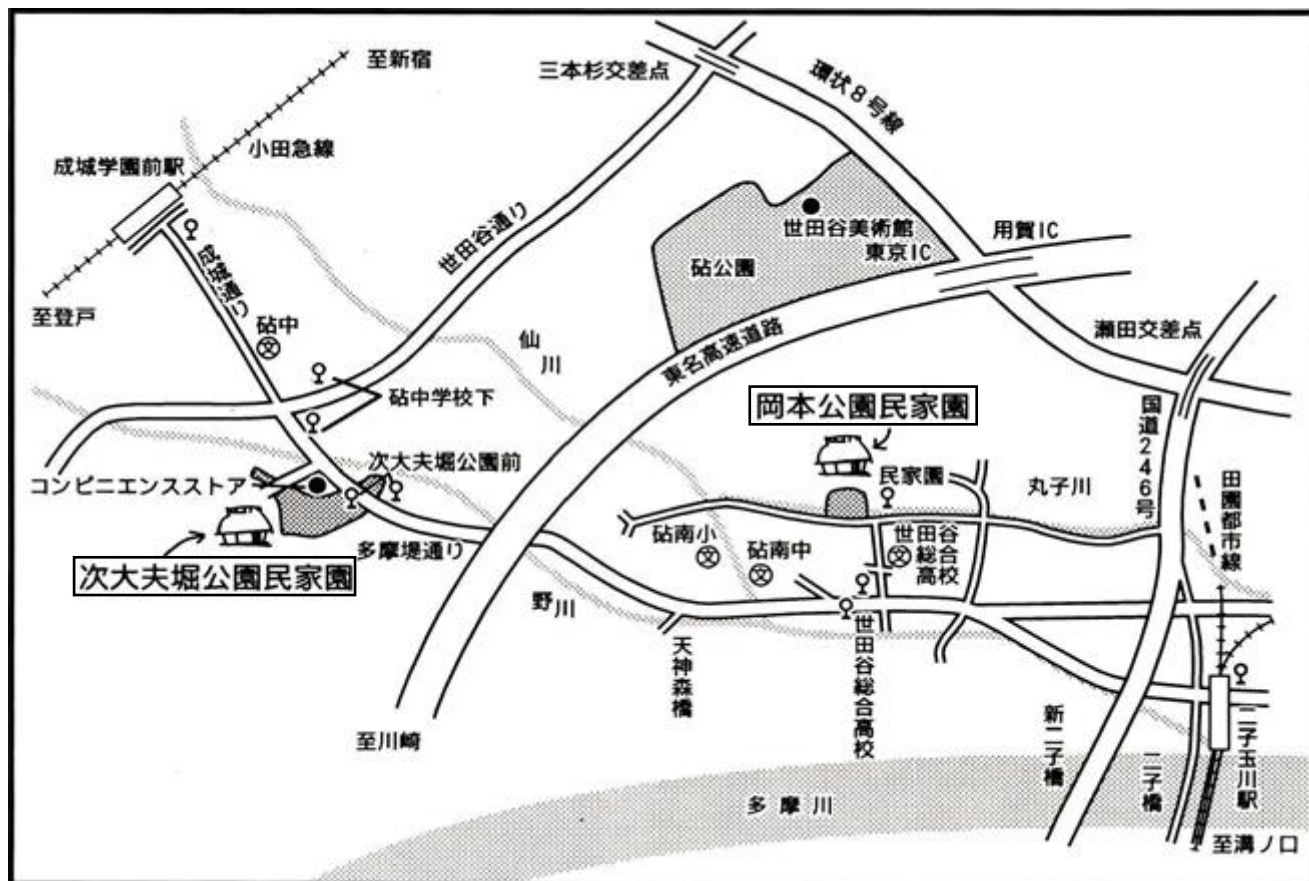


◆ 研 究 会 (竹細工、食農、草木加工)

農村や農家の暮らしにみられた様々な習俗のうち、主に『暮らしの歳時記』におけるお供え物や飾り物などの製作を実演しています。



民家園案内図



—— ご利用について ——

◇ 開園時間：午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分

◇ 休 園 日：毎週月曜日と 12 月 28 日～1 月 4 日

*元日は特別開園、午前 10 時～午後 3 時 30 分

*月曜日が祝日及び休日にあたる時は開園のため、次の平日が休園日

◇ 入 園 料：無料

世田谷区立次大夫堀公園民家園

〒157-0067 世田谷区喜多見 5-27-14

TEL・FAX 03-3417-8492

<交通>

バス：小田急線成城学園前駅⇄東急線二子玉川駅

「玉 07」系統

「次大夫堀公園前」下車 徒歩 2 分

徒歩：小田急線成城学園前駅より 15 分

世田谷区立岡本公園民家園

〒157-0076 世田谷区岡本 2-19-1

TEL・FAX 03-3709-6959

<交通>

バス：・小田急線成城学園前駅⇄東急線二子玉川駅

「玉 07」系統「世田谷総合高校」下車 徒歩 5 分

・東急線二子玉川駅→玉川病院循環「玉 30」系統
東急線二子玉川駅→成城学園前駅「玉 31」系統
「民家園」下車 徒歩 1 分

徒歩：東急線二子玉川駅より 20 分

世田谷区教育委員会事務局 教育政策・生涯学習部 生涯学習課 民家園係

〒157-0067 世田谷区喜多見 5-27-14 (次大夫堀公園内) TEL 03-3417-5911・FAX 03-3417-5961

令和7年3月発行 (世田谷区広報印刷物登録番号 No.2359)

再生紙を使用しています。